

製品名: MEK-7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13810**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K7 MAP2K7; JNKK2; MEK7; MKK7; PRKMK7; SKK4; Dual specificity mitogen-activated protein
別名	kinase kinase 7; MAP kinase kinase 7; MAPKK 7; JNK-activating kinase 2; MAPK/ERK kinase 7; MEK 7; Stress-activated protein kinase kinase 4; SAPK kinase 4; S
遺伝子 ID	5609.0
SwissProt ID	O14733
免疫原	抗血清はヒト MAP2K7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

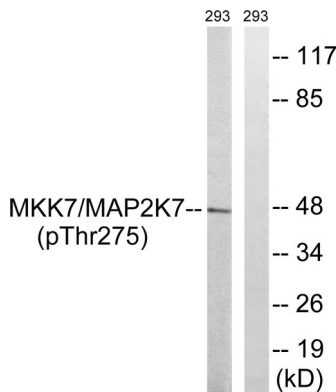
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼキナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼです。このキナーゼは MAPK8/JNK1 および MAPK9/JNK2 を特異的に活性化し、MAP3K1/MEKK1、MAP3K2/MEKK2、MAP3K3/MEKK5、MAP4K2/GCK などの MAPキナーゼキナーゼによってリン酸化・活性化されます。このキナーゼは、炎症性サイトカインや環境ストレスに対する細胞応答を媒介するシグナル伝達に関与しています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2014年7月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: MAP3K1/MEKK1、MAP3K3/MEKK3、MAP3K11/MLK3、MAP3K12/DLK などの特定の MAPキナーゼキナーゼによるリン酸化によって活性化されます。機能: ストレス活性化、JUNキナーゼ MAPK8/JNK1、MAPK9/JNK2、MAPK10/JNK3 を活性化する二重特異性キナーゼ。PTM: Ser/Thr のリン酸化によって活性化されます。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAPキナーゼキナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 普遍的。骨格筋で最も高い発現レベルを示す。アイソフォーム 3 は、胎盤、胎児肝臓、骨格筋に低レベルで存在する。

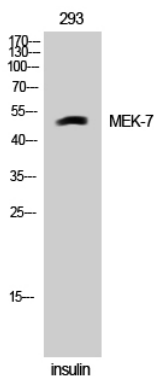
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;ErbB_HER;Toll_Like;T_Cell_Receptor;Fc_epsilon RI;神経栄養因子;GnRH;

画像データ



MAP2K7 抗体を用いた、インスリン 0.01U/ml を 15 分間処理した 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MEK-7 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析